

学校統廃合について考える

☆小規模校で育つ子どもの力

☆学校統廃合は誰のため

いま、各地で小学校、中学校、高等学校の統廃合が進められています。
横浜市では、小学校で1校あたり11学級以下を「小規模校」とし、80年以上の歴史を持つ小学校も、統廃合されようとしています。学校・地域で大切に育てられてきた子どもたちは「学校統廃合」でどうなるのでしょうか。

また、神奈川県は少子化を理由に40校近い全日制を削減し、過大規模校が続出しています。入学者が少ないという理由で夜間定時制18校中6校の「募集停止」を発表しました。セーフティネットとしての夜間定時制の役割はどうなるのでしょうか。県は「多文化共生」を掲げていますが、現場でつくりあげた外国人生徒への日本語教育や支援はどうなるのでしょうか。

日時：6月18日（日）

場所：平和と労働会館4階

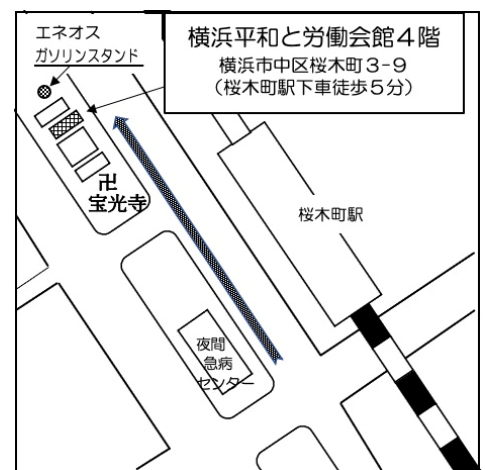
私教連会議室 資料代：500円

オンライン参加もできます

下記メールで申し込まれた方には
Zoom ミーティングの
ID、パスコードをお送りします。

日程 13時30分開場 14時（開会）
～16時30分（閉会）

内容 講演 『学校統廃合を超えて』山本由美さん
報告 ①横浜市立齊藤分小学校統廃合問題
②県立翠嵐高校定時制の募集停止問題
討論 -会場参加・オンライン参加の皆様で-



<講師紹介> 山本由美（やまもと・ゆみ） 和光大学現代人間学部教授

専門は教育行政学、教育制度論 著書等：「学校統廃合を超えて」自治体研究社 2022年

「小中一貫教育の実証的検証—心理学による子ども意識調査と教育学による一貫校分析」花伝社、2021年など

主催：かながわ定時制・通信制・高校教育を考える懇談会

連絡先：070-1408-0802（保永 博行）

オンライン申込：yasunaga4@icloud.com（6月8日（木）までお願いします）